【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公表番号】特表2021-505138(P2021-505138A)
【公表日】令和3年2月18日(2021.2.18)
【年通号数】公開・登録公報2021-008
【出願番号】特願2020-530383(P2020-530383)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/09　(2010.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/12　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　35/22　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　35/42　(2015.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/47　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/09　ＺＮＡ
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｂ
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｈ
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｋ　35/12
Ａ６１Ｋ　35/22
Ａ６１Ｋ　35/42
Ｃ１２Ｎ　5/10
Ｃ０７Ｋ　14/47
Ｃ０７Ｋ　19/00

【手続補正書】
【提出日】令和3年11月29日(2021.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ａ）新たに採取した細胞を容器中に得る工程であって、前記細胞が、修飾および分泌型ワクチンタンパク質を発現する、工程と、
ｂ）前記採取した細胞を液体窒素と接触させる工程と、
ｃ）前記細胞に少なくとも１２０（Ｇｙ）の線量で電離放射線（ＩＲ）を与える工程とを含む、細胞を保存するための方法。
【請求項２】
前記細胞を液体窒素中に貯蔵する工程をさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
細胞生存率を増加させる、請求項１または２に記載の方法。

【請求項４】
細胞回復を増加させる、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記細胞にＩＲを与えることが、前記細胞を複製不能にする、請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
前記細胞がγ線で照射される、請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
γ線を与えられると前記細胞が非増殖性となる、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
与えられるＩＲの線量が、１２５（Ｇｙ）、１３０（Ｇｙ）、１３５（Ｇｙ）、１４０（Ｇｙ）、１４５（Ｇｙ）、１５０（Ｇｙ）、１５５（Ｇｙ）、１６０（Ｇｙ）、１６５（Ｇｙ）、１７０（Ｇｙ）、１７５（Ｇｙ）、１８０（Ｇｙ）、１８５（Ｇｙ）、１９０（Ｇｙ）、１９５（Ｇｙ）、２００（Ｇｙ）、２１０（Ｇｙ）、２１５（Ｇｙ）、２２０（Ｇｙ）、２２５（Ｇｙ）、２３０（Ｇｙ）、２３５（Ｇｙ）、２４０（Ｇｙ）、２４５（Ｇｙ）、２５０（Ｇｙ）、２５５（Ｇｙ）、２６０（Ｇｙ）、２６５（Ｇｙ）、２７０（Ｇｙ）、２７５（Ｇｙ）、２８０（Ｇｙ）、２８５（Ｇｙ）、２９０（Ｇｙ）、２９５（Ｇｙ）、３００（Ｇｙ）、３２０（Ｇｙ）、３２５（Ｇｙ）、３３０（Ｇｙ）、３３５（Ｇｙ）、３４０（Ｇｙ）、３５０（Ｇｙ）、３６０（Ｇｙ）、３６５（Ｇｙ）、３７０（Ｇｙ）、３７５（Ｇｙ）、３８０（Ｇｙ）、３８５（Ｇｙ）、３９０（Ｇｙ）、４００（Ｇｙ）、４２５（Ｇｙ）、４３０（Ｇｙ）、４３５（Ｇｙ）、４４０（Ｇｙ）、４４５（Ｇｙ）、４５０（Ｇｙ）、４６０（Ｇｙ）、４６５（Ｇｙ）、４７０（Ｇｙ）、４７５（Ｇｙ）、４８０（Ｇｙ）、４８５（Ｇｙ）、４９０（Ｇｙ）、４９５（Ｇｙ）、および５００（Ｇｙ）から選択される、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
与えられるＩＲの線量が約１２０（Ｇｙ）である、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
前記修飾および分泌型ワクチンタンパク質が、ｇｐ９６－Ｉｇをコードする熱ショックタンパク質である、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
前記細胞が腫瘍細胞である、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
前記腫瘍細胞が、肺または膀胱の腫瘍細胞である、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記腫瘍細胞がＶｉａｇｅｎｐｕｍａｔｕｃｅｌ－Ｌ（ＨＳ－１１０）である、請求項１１に記載の方法。
【請求項１４】
前記腫瘍細胞がＶｅｓｉｇｅｎｕｒｔａｃｅｌ－Ｌ（ＨＳ－４１０）である、請求項１１に記載の方法。
【請求項１５】
前記細胞を培養物中で増殖させることをさらに含む、請求項１～１４のいずれか一項に記載の方法。